



プロジェクト名称

Global Dormitory Project

プロジェクト活動概要

芝浦工業大学に国際学生寮ができてから 5 年目になる。今までの活動としては近所の公園の夏祭りに参加して外国の料理を留学生と一緒に売り、仮装をして近くの幼稚園に訪問をするなどして地域の人とも関わってきた。地域交流はもちろん、

寮生と芝浦工業大学の学生との交流も徐々に深まりつつある。スーパーグローバル大学 (以下 SGU と記す) に採択された今、

グローバル化に向けて本学生と留学生の交流を通して、ますます本学生を世界に通用する人材として成長させていかなければいけない。

そこでまず寮から本学生へのグローバル化への意識向上を目的として、寮生・留学生・本学生・地域の方、皆が気軽に、楽しむことができる異文化交流イベントを企画・実施する。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 寮の散財を学内外に発信していくこと。
- ② 芝浦工業大学生のグローバル化への意識向上。
- ③ 語学力の向上

七夕まつりに地域の子どもも招くことで国際学生寮を地域の人々へ宣伝した。

新たなる企画として、Lightning Talk を追加。寮内の学生の語学力向上だけではなく日本人学生と留学生との距離をさらに縮めた。

活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2017 年 6 月 1 日 ~10 月 31 日

七夕まつり



参加した寮生や地域の子どもが願い事を短冊に書き、笹につるした。その後、流しそうめんやスイカ割りをし、最後に花火をした。

今年は地域の子ども連れの家族も参加し、国際学生寮を地域の人々へ宣伝した。

盆踊り



藁田島公園で実施された盆踊り大会への出店。タイ料理「パットガパオ」を販売。タイの食文化の体験ができた。

地域のお祭りへの出店によって、地域交流をおこなった。恒例行事であるが地域への宣伝として、これからも続けていく価値のある行事であると考えます。

来年も参加をする予定である。

ハロウィン



アカペラサークル・ジャグリングサークル、日本語学校の生徒を招待した。仮装コンテストの実施、キャンドル作りをした。

恒例行事だが、板橋区にある日本語学校に宣伝にいき、日本語学校にいる外国人を招いた。

日本語学校へ宣伝をしに行くことによって芝浦工業大学へ興味をもつ留学生を増やすことができ、よい学校貢献になったと考える。

Lightning Talk



テーマを決めてそれについて話し合ったり、5分間スピーチをしたりする。

日本人と留学生の交流を深めるために、英語のみで一人ずつスピーチ、それについて他の人たちが質問というもの。



普段は話さない日本人も留学生もお互いにコミュニケーションを取ることができ、これによって寮内の日本人と外国人の交流も増えたように思える。

まだ新企画のため開始して間もないがこれから整備し、より効果的な企画になるように努める。

今後の活動計画、目標、意気込み

私たち Global Dormitory Project は寮内外のつながりを強固なものにするために様々なイベントを企画してきた。

全てが恒例行事には可能な限り新しい要素を追加し、新たなるイベントも企画した。

これからも芝浦工業大学の発展のために更なるイベントを企画していくつもりである。

またその先駆けとして新たに企画した Lightning Talk は寮内の日本人と留学生の関係をより良いものにするものであると考えるため、これから1年かけて整備していくつもりである。